

令和 7 年産米の生産数量の目安について

1 福井県産米の生産数量の目安の考え方

- ・国が示した令和 7 年産の全国の需給見通しを参考にするとともに、福井県産米の需給状況と需要見込みに基づき、目安を設定する。
- ・国の支援策等を最大限に活用し、生産者の所得確保を図りながら、備蓄米等の水田活用米穀や飼料用米、大豆、そば、園芸品目への転換を進める。
- ・令和 7，8 年産主食用米の生産、販売拡大につながるよう積極的に販路を開拓していく。

令和 6 年産 生産数量の目安		令和 7 年産 生産数量の目安		R 7 目安－R 6 目安		
数量 (t)	面積 (ha)	数量 (t)	面積 (ha)	数量 (t)	面積 (ha)	比率 (%)
114, 252 t (116, 300t)	22, 014 ha (21, 900ha)	116, 718t	22, 489 ha	+ 2, 466 t (+418t)	+ 4 7 5 h a (+589ha)	+ 2. 2% (+ 2. 7%)

※ () カッコ内は 6 年産実績。

2 地域協議会別の生産数量の目安の設定方針

(1) 基本的な考え方

令和 7 年産米の地域別協議会の生産数量の目安は、平成 2 8 年産米の市町別生産数量目標のシェア（固定）に基づき設定する。

(2) 具体的な算定方法

①市町別の生産数量の目安

【県の生産数量の目安】×【平成 2 8 年産米の市町別生産数量目安目標のシェア】

②面積換算値

地域協議会の面積換算値については、北陸農政局が毎年公表する当該市町の 1 0 a 当たり収量（平成 2 8 年～令和 5 年の最高最低を除いた 6 ヲ年平均）を基に算定する。